第４号　　令和７年３月発行



福岡中学校・馬出小学校 建替検討委員会ニュース



「福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会」では、校舎の老朽化に伴う建替えを契機に福岡中学校の小規模校の課題を解決するため、令和５年度から建替えの方向性などについて協議しています。

令和７年３月４日（火）に第４回建替検討委員会を開催し、前回頂いた意見の共有と、新たに作成したC案について事務局より説明を行い、前回お示ししていたA案、B案に**C案を追加**し、出揃った**３案**について委員の皆様と改めて意見交換を行いました。

＜配置案（３案）＞

※各案の詳細は次ページ以降にお示ししています

今回、馬出小学校を運営しながら小中学校を建替える２案(A案、B案)と、工事期間中に福岡中へ小学校が仮引越しして、馬出小を更地にして建替える案(C案)の３案についてお示ししました。

A案＜反転建替え＞　　**B案**＜原位置建替え＞　　**C案**＜更地建替え＞

＜委員会での主な意見＞

■各案について

○Ａ案（反転建替え）
- 周辺への配慮として、建物を西よりに配置する検討などはできないのか
- 工事中の子どもの教育環境や負担を考えるとA案が望ましい
- 校舎が奥にあり遠いという意見に対し、もう少しわかりやすく図で示せないか

○Ｂ案（原位置建替え）
- 原位置で建替えることが無難
- 既存施設(プール等)の解体とプレハブ位置を修正し、運動エリアが広くなる図を示してほしい
- 自校調理での給食の継続が難しいこと、子どもたちが長期間プレハブで過ごすこと、日常の運動エリアが小さく遊ぶ機会が減ることは問題

○Ｃ案（更地建替え）
- 特に小学生低学年が一時的でも中学校に行くと、通学の負担が大きく問題がある
- 一時的にでも中学校の体育館だけになると、中学校の部活動や地域利用などの利用調整ができるのか心配である

■保護者アンケートについて

- 影響を受ける子どもの保護者からの意見も確認して進めた方がいいと思う
- 特に小学校の保護者へはアンケートをとって検討の参考にしてもいいのではないか

■その他

- 何回と会議を開いてでも、将来のことも考えて良い校舎を建ててほしい
- 各委員それぞれの立場での考えがある中でどこかで歩み寄っていかないといけない　など

※歩道整備については、別途、東区担当課より地域へ現状の説明を行い、今後も報告をしながら取り組んでいくことを説明しております。

次回以降の委員会では、今回のご意見や保護者のアンケート等も参考に、引き続き配置案について協議を行っていきます。

お問い合わせ先
福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会事務局
（教育委員会学校計画課）
TEL：711-4252　FAX：733-5539
E-mail：gakkokeikaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

＜配置案（３案）について＞

参考

※数値は目安

A案 ＜反転建替え＞

特徴：建物がシンプルでコンパクトにまとまっており、運動場面積が確保しやすい

配置イメージ

完成後

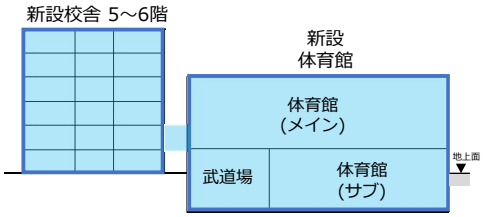


工事期間中 ※既存体育館は使用可能



※児童と工事の出入口▽は分離できるが、工事のフェーズに応じて変わる

断面イメージ



整備フロー	1年	2年	3年	4年
①建設工事等	①	★引越し		
②既存校舎・体育館解体		②		
③運動場工事			③	供用開始

○メリット・▲デメリット

【計画全般】

○まとめて解体工事ができるため、**工期約４年と短くできる**

○反転建替えのため、**学校の引越しが１回で済む**

○**約8,500㎡の運動場**を確保できる

▲校舎棟が**高層化**となる

▲建物が正面道路から奥の配置となるため、**歩行者と車両のアプローチの確保が必要**

▲建物が隣接する学校や東側の住宅へ近くなるため、**騒音・日照等周辺への配慮が必要**

【工事期間中の影響】

▲**馬出小敷地内で学校運営と校舎建設**を行うこととなる

○自校調理での**給食の継続も可能**

○児童の**運動エリアが比較的確保しやすい**

○福岡中への影響はない

○体育館は小中の２か所

－通学距離は変わらない

B案 ＜原位置建替え＞

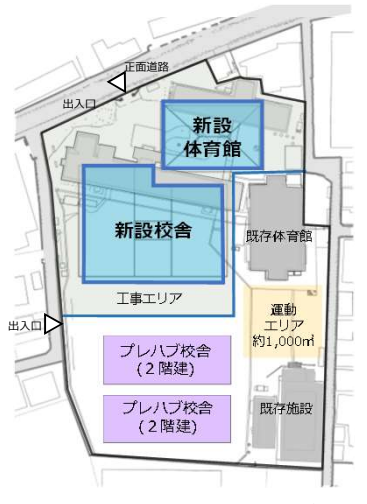
特徴：既存校舎側に建物を建てるため、現在の配置環境が変わらない。また、正面道路から建物にアクセスしやすい

配置イメージ

完成後

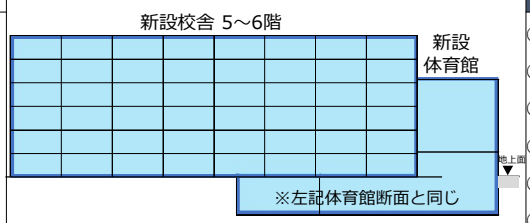


工事期間中 ※既存体育館は使用可能



※児童と工事の出入口▽は分離できるが、工事のフェーズに応じて変わる

断面イメージ



整備フロー	1年	2年	3年	4年	5年	6年
①プレハブ校舎設置	①	★引越し				
②既存校舎解体		②				
③建設工事			③	★引越し		
④プレハブ解体				④		
⑤既存体育館解体					⑤	
⑥運動場工事等						⑥ 供用開始

○メリット・▲デメリット

【計画全般】

▲解体工事が分散するため、**工期約６年となる**

▲原位置建替えのため、プレハブ校舎が必要で、**学校の引越しも２回必要**

▲**約7,500㎡の運動場**は確保できる

▲校舎棟が**高層化**となる

○**正面道路からの動線が短くアクセスしやすい**

○建物が敷地中央の配置で、**現況の環境とほぼ変わらない**

【工事期間中の影響】

▲**馬出小敷地内で学校運営と校舎建設**を行うこととなる

▲自校調理での**給食の継続が困難**（外部から配送する必要がある）

▲児童の**運動エリアが確保しにくい**

○福岡中への影響はない

○体育館は小中の２か所

－通学距離は変わらない

※配置は大まかな建替え方のイメージであり、案が決まれば今後の基本設計において詳細な配置案を検討していきます。

参考

※数値は目安

C案 ＜更地建替え＞（福岡中へ仮引越）

特徴：福岡中に馬出小の仮設校舎を建設し学校運営するため、馬出小は更地にでき、建替え工事をしやすい。

配置イメージ

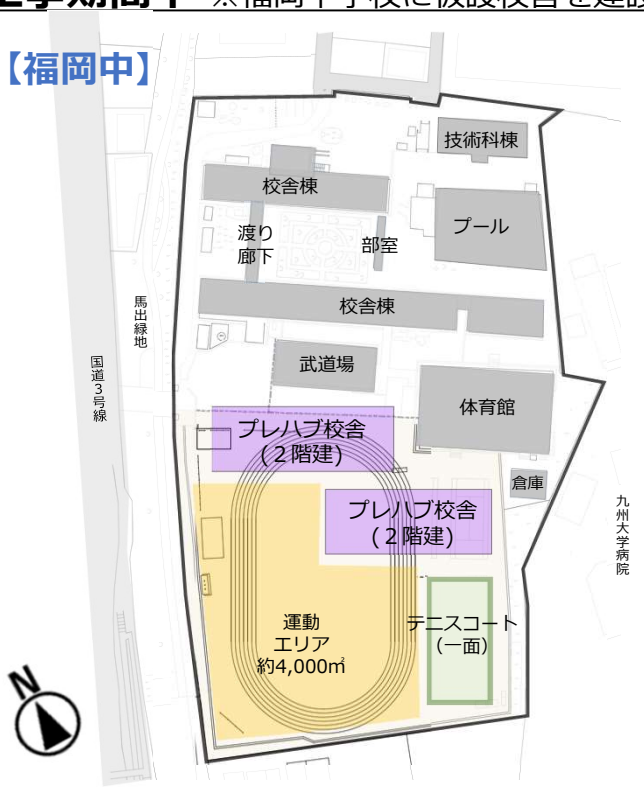
完成後

【馬出小】



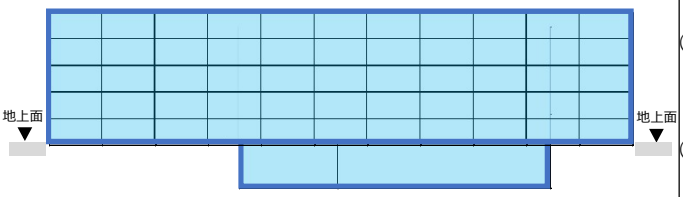
工事期間中 ※福岡中学校に仮設校舎を建設

【福岡中】



断面イメージ

新設校舎 4～5階



※体育館はA、B案断面と同じ

整備フロー	1年	2年	3年	4年
（福岡中） ①プレハブ校舎設置	① ★引越し(小)			
（馬出小） ②既存校舎等解体		②		
③建設・運動場工事			③	★引越し（小中） 供用開始

○メリット ▲デメリット

【計画全般】

○更地で工事ができるため、**工期約４年と短くできる**

▲馬出小が福岡中に仮引越しするため、プレハブ校舎が必要で、**学校の引越しも２回必要**

○**約8,500㎡の運動場**を確保できる

○校舎棟の**中層化**が可能

○**正面道路からの動線が短くアクセスしやすい**

○建物が正面道路側の配置で、**現況の環境とほぼ変わらない**

【工事期間中の影響】

○**学校運営と校舎建設が別々の場所**となる

▲自校調理での**給食の継続が困難**（外部から配送する必要がある）

▲児童・生徒の運動エリアは比較的確保しやすいが、**小中での共用となる**

▲プレハブ校舎建設に伴い、特に**部活動等への影響が大きくなる**

▲**体育館も福岡中の１か所**で**利用調整**が必要。

－通学距離が短くなる児童もいるが、**通学距離が長くなる児童が多くなる**